

記事の作り方（題名）

著作者の名前@物理のかぎプロジェクト

2010-01-10

どうも、クロメルです。記事の作り方が記事ソースから変わったようなので、よく使われる書き方をまとめてみました。僕もよく分かってないところがありますので、そこは他の方の書かれた記事ソースを参考にされるといいと思います。

この記事は、記事に変換する前の [変換前のテキストファイル](#) を参照しながら、ご覧ください。

記事ソースに上げる記事は上のように、半角シャープの後に「rst2hooktail.source」をつけてください。題名は半角イコールで囲みます。半角イコールは、題名よりも長くなければなりません。

記事が完成したら、物理のかぎプロジェクトの [トップページ](#) の左上にある新規ボタンを押し、「記事ソース/記事名」と書き、新規の記事ソースページを作り、この記事のような形式で書いた文章を貼り付けて、ページの更新ボタンを押してください。元から書いてある文章は消してしまって構いません。

後は、コンバートしたアドレスを査読のページへ上げてください。上げるには査読のページで左上の編集ボタンを押し、- [[査読/記事名 (誰々著)]] と書いて更新ボタンを押せば、?マークが出ますので、それをクリックして、html の所にアドレスを貼り付けてください。

セクションの名前

ここに文章を書いていきます。これも、半角イコールの列はセクション名より長くしてください。

サブセクションの名前

サブセクションは、半角マイナスを書いてください。

数式

数式は、

$$i\hbar\frac{\partial}{\partial t}\psi = H\psi$$

の様に tex タグで囲って tex コマンドを書くか、 $F = ma$ の様に半角ドルマークで囲ってください。ただし、ドルマークを使う方法は、更に半角スペースで囲ってください。tex の書き方については、例えば下

に書いた参考文献をご覧ください。

注

注は、この様に^{*1} 入れます。

リンクの張り方

リンクは、「リンク名+半角アンダーバー」を半角スペースで囲ってください。例えば、[メインページ](#)へ。こんな感じです。

記事の最後に、アドレスを下の様にご記入ください。

図

図の名前は、下のように「著作者名-記事の名前-番号. 拡張子」としてください。記事名は、[記事名について](#)をごらんください。

なお、図は [rst2hooktail](#) のページから、アップローダを使って記事とは別に上げる必要があります。

定理

theorem

定理はこの様に書いてください。この行の先頭は Tab キーで入力できます。

proof

証明も同様です。

Important

重要ななんてものもあります。猫の足あとがかわいいですね^^

*1 これも半角スペースに気をつけてください。記事の中で改行したいときは、この様に半角スペースを入れてください。

参考文献

参考文献は最下段のように、「著者名, 題名, 出版社, 発行年数, 参照ページ, ISBN コード」の様に書いてください。

あなたも記事を書いてみませんか

記事の書き方はいかがでしたか？これを読んだあなたも記事を書いてみませんか？興味があれば、[物理のかぎプロジェクトについて](#) をお読みになった後 info_at_hooktail.org まで (.at_を@に代えてください。) 連絡をください。それでは、今日はここまで。